

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	外科的治療により発作消失に至った側頭葉てんかん患者における仕事の継続性とIQ(intelligence quotient)の関係についての検討
研究責任者	代表:藤本礼尚 分担研究者:てんかん科 野崎俊樹
研究実施体制	統計解析およびデータ収集(藤本、野崎、山本貴、榎);単一施設、非盲検、後方視
研究期間	IRB 承認日～2020年12月
対象者	2009年10月から2019年2月までに当院で側頭葉てんかんに対する焦点切除術を受けた方が対象
研究の意義・目的	側頭葉てんかんの外科治療と術後の仕事の継続性やIQの変化に関する影響を検討する。
研究の方法	【方法】側頭葉てんかんに対する焦点切除術を受けた症例に対して、術前後の仕事の継続性やIQの変化を後方視的検討し統計学的に評価する。 【選択基準】16歳以上、1年以上の発作消失例、術前後で神経心理学的検査を受けている 【除外基準】特になし 【予定症例数】上記条件を満たした28例 【症例数の設定根拠】2009年10月から2019年2月までで上記条件に合致した例数
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 てんかんセンター (氏名) 藤本礼尚 TEL:053-474-2222(代表) てんかんセンター外来 9:00～17:00 平日